

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	バイオセーフ
会社名	協友アグリ株式会社
住所	〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町6番1号 山万ビル11階
担当部門	普及・マーケティング部
電話番号	03-5645-0706
FAX番号	03-3639-5299
メールアドレス	info@kyoyu-agri.co.jp
WEBサイト	https://www.kyoyu-agri.co.jp/
推奨用途	農薬（殺虫剤）
使用上の制限	農薬登録内容以外の使用は不可

2. 危険有害性の要約

GHS分類

(物理化学的危険性)

爆発物	分類対象外
可燃性又は引火性ガス	分類対象外
エアゾール	分類対象外
支燃性又は酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性化学品	分類できない

(健康に対する有害性)

急性毒性：経口	区分外
急性毒性：経皮	区分外
急性毒性：吸入（気体）	分類対象外
急性毒性：吸入（蒸気）	分類できない
急性毒性：吸入（粉じん）	分類できない
急性毒性：吸入（ミスト）	分類対象外
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2 B

呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない

（環境に対する有害性）

水生環境有害性（急性）	分類できない
水生環境有害性（長期間）	分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル	—
注意喚起語	警告
危険有害性情報	眼刺激
注意書き 安全対策 応急措置	取扱い後は手をよく洗うこと。 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合:医師の診断、手当てを受けること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名	適用外(微生物農薬のため)
一般名	スタイナーネマ カーポカプサエ オール株の感染態3期幼虫
成分及び含有量	
①スタイナーネマ カーポカプサエ オール株の感染態3期幼虫	250万頭/g
②吸水性高分子等	

4. 救急措置

吸入した場合	被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	多量の水で洗うこと。 皮膚刺激又は発疹を生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぎ、無理に吐かせない。医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤	水、粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤など
-----	----------------------

消火を行う者の保護 防護服及び防じんマスクを着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

濃厚な廃液が河川などへ流入しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

保管中の製品がこぼれた場合、注意深く掃き取り容器内に收容する。散布液がこぼれた場合、広がらないようにし、拭き取る。

7. 取扱い及び管理上の注意

取扱い

接触回避

吸い込んだり皮膚や眼に触れないよう、長袖の作業衣、保護手袋、保護マスク、保護眼鏡を着用して、できるだけ風上から作業する。

保管

安全な保管条件

適当な換気のある乾燥した、冷暗所（約5℃）に保管する。活性が低下しないように凍結したり、35℃以上にならないように保管する。

安全な容器包装材料

詳細は製品のラベルに従う。

8. ばく露防止措置

設備対策

換気を適正に行う。

許容濃度

日本産業衛生学会で未設定

保護具

呼吸器用保護具

防じんマスク

手の保護具

防水手袋

眼の保護具

側板付き普通眼鏡型、又はゴーグル型保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

適切な作業衣、安全靴

9. 物理的及び化学的性質

外観

淡黄色塊状

臭い

データなし

pH

7.33 (20.0 g/80 mL水溶液)

引火点

データなし

比重（見掛け）

データなし

溶解度

データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

5℃で4ヶ月

避けるべき条件

凍結および35℃以上の温度（失活）

11. 有害性情報

急性毒性

経口 LD50

>5,000 mg/kg（雌雄ラット）（区分外）

経口 LD50

>5,000 mg/kg（雌雄マウス）（区分外）

経皮 LD50

>2,000 mg/kg（雌雄ウサギ）（区分外）

吸入 LC50

データなし（分類できない）

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	刺激性あり（ウサギ）（GHS分類基準以下であり区分外）
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性	刺激性あり（ウサギ）（区分2B）
呼吸器感作性	データなし（分類できない）
皮膚感作性	陰性（モルモット）（区分外）
生殖細胞変異原性	データ不足（分類できない）
発がん性	データ不足（分類できない）
生殖毒性	データ不足（分類できない）
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データ不足（分類できない）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データ不足（分類できない）
吸引性呼吸器有害性	データなし（分類できない）

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性 コイ	96時間 LC50	>5×10 ⁵ 頭（線虫）/Lで影響なし
その他 ミジンコ	3時間 LC50	>5×10 ⁵ 頭（線虫）/Lで影響なし

GHS 分類基準に合致するデータでないことから、水生環境有害性(急性)及び水生環境有害性(長期間)は分類できないとした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物の廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。空容器、空袋、汚染容器等の処理は、内容物を完全に除去し、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(施行令第6条)等の関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。これらの処理を委託する場合は、所轄の地方自治体の許可を得た一般(或いは、特別管理)産業廃棄物業者と契約を結んだ上、処理を委託すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類	該当しない。
輸送の特定の安全対策及び条件	容器が破損しないよう水ぬれや乱暴な取扱いを避ける。

15. 適用法令

農薬取締法	農薬登録番号 第 21503 号
-------	------------------

16. その他

- ・危険・有害性の情報及び評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分ご注意願います。
- ・記載の注意事項は通常の実施を対象とした参考情報です。取扱いの際は用途に適した安全対策を実施のうえご利用ください。
- ・記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいており、新しい知見、法令の改正等により改訂されることがあります。
- ・記載内容は、情報提供であって保証内容ではありません。